

# 覚法寺改築工事について



季刊

# 覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園1-25  
電話(096)383-4874  
FAX(096)383-3050  
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp  
<http://www.facebook.com/kakuhouji>



熊本地震後、子ども達が掃除を手伝ってくれました

熊本地震から春で五年となります。

平成二十八年・二十九年の季刊誌にて写真と共に紹介しましたが、地震により覚法寺の建築物は多くの箇所が損壊しました。これまで、損壊した建物の改修の案は浮上しましたが、熊本地震後のすぐには多くの方も被災されており、どのタイミングでお話すればよ

いかと時期を伺っております。

この度、役員会で協議いたしました。非常に大変な事業になりますが、覚法寺の本堂建物と旧納骨堂の改築工事を施工したいと考えております。

覚法寺の本堂は、戦後十数年が経った昭和三十五年に現在の場所に移転して建てられた建築物です。そのようなことからバリアフリーでもなく、二階が本堂ですがエレベーターもなく、という状況ですが、当時からすれば今のような、高齢化社会を想像はできなかつたことと存じます。

また旧納骨堂は昭和四十年に建てられ、こちらも年数経過の劣化とともに地震によって多数損壊し、特に一階の納骨壇は石作りとなっており、いびつにズレた石板のある個所は危険性も伴いますので、新しい納

ご本尊は本山からお迎えしましょう

ご本尊について  
お問い合わせ

参拝部  
覚法寺  
☎075(371)5181 まで  
☎096(383)4874 まで

骨壇へと早めに着工致したく考えております。

※駐車場の上部にございます無量寿堂(新納骨堂)は、築年数や損傷も少なく、現状のまま維持で、工事は致しません。

改築工事に伴い、建物のバリアフリー化・エレベーターの設置を致したいと考えております。そのようなことから本堂建物や納骨堂それぞれ、多少のご負担をお願いさせていただきます。予定では令和五年または令和六年に着工致したく、また改めてご案内させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

また、平成十四年に大修復しました本堂内陣は、先般皆様からのご寄付をいただき、まだ美しく良い状態なので、そのままの状態です。使えるように工事したいと考えております。

## 住職雑記

昨年は新型コロナウィルスに翻弄された二年であったと言ったことができるでしょう。そのような中で翻弄されたのはコロナウィルスのせいというよりも、

自分自身の心の未熟さであったことに気付いた人が、一体どれくらいおられたでしょうか。

▼少し心理学と仏教について考えたいと思います。仏教の深層心理学ともいえる唯識では、目に見えるものに実体はなく、一切の物事はそれを認識する心の現れにすぎないという考え方です。つまり個人にとつてあらゆる存在が、唯の識(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚、意識、無意識)によって成り立っているにすぎないという事です。▼昨年お寺の掲示板大賞というコンテストで大賞に選ばれた言葉が「コロナよりも怖いのは人間だつた」でした。昨年はコロナ差別など様々な問題が提起された年でもありました。▼目に見えるものが全てではなく、ある意味目に映っているものは、その個人が作り出した錯覚的存在に過ぎない。人間はあらゆるものを勝手に何かと認識して作り出し、勝手に区別をしている。その区別が差別へとならぬよう、コロナ禍があまり出したものを考えさせられます。

親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年 慶讃法要

スローガン・ロゴマーク決定



親鸞聖人を中心に、手を合わせる人々が一つに集い、共に生きていく姿を、蓮の形で表現されています。

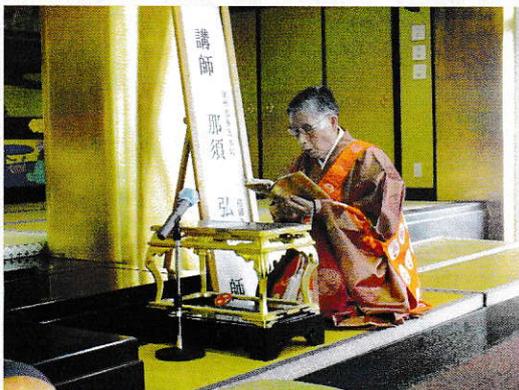
慶讃法要日程 二〇二三(令和五年)

- 第一期 三月二十九日(水)～四月三日(月)六日間
- 第二期 四月十日(月)～四月十五日(土)六日間
- 第三期 四月二十四日(月)～四月二十九日(土)六日間
- 第四期 五月六日(土)～五月十一日(木)六日間
- 第五期 五月十六日(火)～五月二十一日(日)六日間

『御伝鈔』 拜読を終えて

報恩講は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人のご命日の法要で、お寺で最も大切な行事です。覚法寺では、令和二年十一月二十三・二十四日に行われました。私は夢にも思わない『御伝鈔』拜読をさせていただき有難いことでした。『御伝鈔』を拜読するには、高い声が必要で、八十三歳になる私にできるか不安もありましたが、先輩方の温かいご指導により、なんとか責任を果たすことができました。

私は覚法寺衆徒になって十四年、毎日の晨朝勤行や法要等に努めて参りました。『御伝鈔』拜読の役が決まってからは、お寺の本堂、自宅、江津湖一帯で練習しました。



二十四日の当日、『御伝鈔』下巻の第六段、第七段という特に難しいところでしたが、拜読を無事終えた時、とても安心しました。私にとつて、今迄の人生の中でのつらい事、悲しかった事も忘れ、この後の余生を楽しく生きていける支えになりました。

今回の『御伝鈔』拜読には、皆様から心から感謝致します。

(原田昭義)



建築企画・設計・監理

有限会社

三島建築事務所

代表取締役 三嶋 統吾  
一級建築士

〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号

TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37

(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720

三嶋統吾さん(覚法寺門徒  
総代)が本願寺の宗会議員  
になられました



三嶋統吾さん

宗会とは、宗門全般の意思を尊重するように運営され、宗門の重要な宗務に関し評議、又は議決する機関であります。日本の国で言うならば国会のようなものです。熊本教区からは、僧侶宗会議員が二名、門徒宗会議員が一名選出されます。三嶋さんは、以前に全国仏教壮年会の理事長を務めておられました。今度は熊本教区の門徒の代表としてのご活躍を念じております。

再び会える世界

人の世には色々な(別れ)があります。肉親や日頃から親しくしていた人の死ほどつらいものはありません。

私達はこれを(永遠の別れ)といいますけれども浄土真宗の門信徒にとって通夜から葬儀にかけての仏事は亡き人に永遠の別れを告げる儀式ではなく、むしろ、仏のはからいによって、再び会える世界(お浄土)への思いを、確かめあう法会なのであります。だからこそ悲しみをのりこえてお念仏の尊さがしみじみと胸にしみるのであります。



(光寺)

今年の抱負

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、未曾有の新型コロナウイルス感染症拡大で世界中の人々が翻弄された一年でありました。現在もそのまっ只中ではありますが、毎日の日々が暗中模索であります。そんな中、昨年末ニュースで見た事柄を思い出します。それは、飲食店の経営者の方々が営業継続の困難な中に生み出した施策『競争ではなく協創』。従来は、生き残るために同業者同士が競い合ってきた。しかし、コロナ禍でみなが悪戦苦闘。この暗黒の状況を生き抜くためにはみなが協力しあい創造していくと。

また、運動会の時期にニュースに出ていたある小学生の言葉。「あれも出来ないこれも出来ない」と嘆くよりもこれなら出来るという事を見出して頑張る」と。思い通りにならないままならない人生を受け止め、出来る事を見出し、賜りたる命を精いっぱい生き抜いていく。

いよいよ仏教の教えが光り輝いているように思います。私も、その方々を見習い精進したいと思うことでもあります。

「闇深ければ 光もまた強し」 坂村 真民 のことば

(音光寺)

お寺でのお祝い事

「お寺で結婚式ができるって本当ですか？仏事や葬儀をするところじゃないんですか？」  
こんな質問をあるご門徒さんのお家で尋ねられたことがあります。

そこで今回はお寺で行われる仏前結婚式を紹介いたします。  
仏前結婚式とは、仏と成られたご先祖さまに包まれながら、阿弥陀さまの前に結婚の誓いを申し上げる儀式です。

仏前結婚式では、新郎新婦が、ご両親をはじめ多くの方がたのお育てによって、この日を迎えることができたという感謝の気持ちをお忘れず、悲しい時もうれい時も、いつも阿弥陀如来のお慈悲のなかにあるということを感じ、互いに助け合いながら生きていくという決意を新たにします。



この他にもお寺によっては初参式・七五三・仏前成人式・仏前還暦式・七草祝・起工式・誕生祝・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿等々様々なお祝い事を行われているようです。

新型コロナウイルスの流行によって中々人が集まりにくい世の中になってしまいました。

またいつの日かこういった行事を通してお寺が、人と人が繋がれる場所になればと念じております。

(伊津野)

今年の抱負

新年あけましておめでとございます

昨年の四月に生まれ育った福岡県を出て、覚法寺で勤めさせていただきましたが、私にとつてとても内容の濃く、学ばせていただくことの多い一年間でした。社会人として初めてのお仕事で、不安なことが沢山ありましたが、覚法寺のご門徒さんとはとても優しくして下さり、私自身とても元気を頂きました。しかし、時には、私の失敗でお叱りを受けることや、尋ねられた質問にお答えすることが出来ななど私自身の未熟な部分があり、ご迷惑をおかけすることもありました。なので、これから私自身を見つめ直し、より良い僧侶として、一生懸命皆さんと共に仏道を歩んでいきたいと思っております。

これからどうぞ宜しくお願います。

(高原亮司)

小さな命

昨年七月、芦北町佐敷の勝延寺(吉津慶勝住職)にボランティアで行った時のお礼と嬉しい報告がありました。

街も紅葉で色づき、おかげ様で泥だらけだった庭にも花が咲きました。心より感謝申し上げます。合掌



庭に咲いたバラ

(光寺)

ダイナ基金だより

日頃よりダイナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。今回は「熊本県南部豪雨水害」への義援金として、熊本教区芦北組の災害対策へ五万円を寄付致しました。

今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。

(はちすの会ダイナ基金係より)

毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)  
お寺に参ろう。門信徒総参拝

設計施工総合建設業

一級建築士事務所



竹内工務店

代表取締役会長 竹内 義雄  
代表取締役社長 竹内 浩二  
本社/熊本市東区尾ノ上4丁目20-11  
TEL(096)365-3366(代)  
FAX(096)369-0562  
鹿児島営業所/鹿児島市五ヶ別府町1734  
TEL(099)265-9619  
FAX(099)265-9619



創業60年

不動産の賃貸、売買、管理、相続、全て扱っています。

(株)国府不動産

代表取締役 小川 道雄

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目13-5 (国府電停前)

☎(096)364-6618